

THE WORLD ANTI-DOPING CODE

INTERNATIONAL STANDARD

世界アンチ・ドーピング規程

禁止表国際基準

PROHIBITED LIST



WORLD
ANTI-DOPING
AGENCY
play true

2018年1月1日発効

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

世界アンチ・ドーピング規程

国際基準

The World Anti-Doping Code

INTERNATIONAL
STANDARD

禁止表国際基準

Prohibited List

2018年1月

2018年禁止表国際基準は英語版が原本となります。

本国際基準の英語版と日本語版に差異がある場合には、英語版が優先されます。



目次

2018 年禁止表国際基準(日本語)……………1

2018 年禁止表 主要な変更の要約と注釈(日本語)……………14

2018 年禁止表国際基準……………17

2018 年禁止表 主要な変更の要約と注釈……………25

2018 年監視プログラム(日本語)……………28

2018 年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈(日本語)……………29

2018 年監視プログラム……………30

2018 年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈……………31

監視プログラムについて

世界アンチ・ドーピング規程(4.5)では「WADAは、署名当事者及び各国政府との協議に基づき、禁止表に掲載されていないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質について監視プログラムを策定するものとする。」と定めています。監視プログラムに掲載される物質は、WADAが監視することを必要と位置付けた物質であり、当該年における禁止物質ではありません。

世界アンチ・ドーピング規程の 4.2.2 条に従い、すべての禁止物質は「特定物質」として扱われる。但し、禁止物質 S1, S2, S4.4, S4.5, S6.a および禁止方法 M1, M2 および M3 は除く。

常に禁止される物質と方法（競技会（時）および競技会外）

禁止物質

S0. 無承認物質

禁止表の以下のどのセクションにも対応せず、人体への治療目的使用が現在の政府保健医療当局でも承認されていない薬物（例えば、前臨床段階、臨床開発中、あるいは臨床開発が中止になった薬物、デザイナードラッグ、動物への使用のみが承認されている物質）は常に（競技会（時）および競技会外）禁止される。

S1. 蛋白同化薬

蛋白同化薬は禁止される。

1. 蛋白同化男性化ステロイド薬(AAS)

a. 外因性* AAS:例として以下の物質がある。

- 1-A) 1-アンドロステンジオール (5 α -アンドロスタ-1-エン-3 β , 17 β -ジオール) ;
1-アンドロステンジオン (5 α -アンドロスタ-1-エン-3, 17-ジオン) ;
1-アンドロステロン (3 α -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-17-オン) ;**
- 1-T) 1-テストステロン (17 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-3-オン) ;**
- 4) 4-ヒドロキシテストステロン (4, 17 β -ジヒドロキシアンドロスタ-4-エン-3-オン) ;**
- B) ボランジオール (エストラ-4-エン-3 β , 17 β -ジオール) ;
ボラステロン ;**
- C) カルステロン ;
クロステボール ;**
- D) ダナゾール ([1, 2]オキサゾロ[4', 5':2, 3]プレグナ-4-エン-20-イン-17 α -オール) ;
デヒドロクロロメチルテストステロン (4-クロロ-17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1, 4-ジエン-3-オン) ;
デスオキシメチルテストステロン (17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-2-エン-17 β -オール) ;
ドロスタノロン ;**
- E) エチルエストレノール (19-ノルプレグナ-4-エン-17 α -オール) ;**
- F) フルオキシメステロン ;
ホルメボロン ;
フラザボール (17 α -メチル[1, 2, 5]オキサジアゾロ[3', 4':2, 3]-5 α -アンドロスタ-17 β -オール) ;**
- G) ゲストリノン ;**
- M) メスタノロン ;
メステロロン ;
メタンジエノン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1, 4-ジエン-3-オン) ;
メテノロン ;**

メタンドリオール；

メタステロン (17β-ヒドロキシ-2α, 17α-ジメチル-5α-アンドロスタン-3-オン)；

メチルジエノロン (17β-ヒドロキシ-17α-メチルエストラ-4, 9-ジエン-3-オン)；

メチル-1-テストステロン (17β-ヒドロキシ-17α-メチル-5α-アンドロスタ-1-エン-3-オン)；

メチルノルテストステロン (17β-ヒドロキシ-17α-メチルエストラ-4-エン-3-オン)；

メチルテストステロン；

メトリボロン (メチルトリエノロン、17β-ヒドロキシ-17α-メチルエストラ-4, 9, 11-トリエン-3-オン)；

ミボレロン；

N ノルボレトン；

ノルクロステポール；

ノルエタンドロロン；

O オキサボロン；

オキサンドロロン；

オキシメステロン；

オキシメトロン；

P プロスタノゾール (17β-[(テトラヒドロピラン-2-イル)オキシ]-1' H-ピラゾロ [3,4':2,3]-5α-アンドロスタン)；

Q キンボロン；

S スタノゾロール；

ステンボロン；

T テトラヒドロゲストリノン (17-ヒドロキシ-18α-ホモ-19-ノル-17α-プレグナ-4, 9, 11-トリエン-3-オン)；

トレンボロン (17β-ヒドロキシエストラ-4, 9, 11-トリエン-3-オン)；

および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

b. 外因的に投与した場合の内因性 AAS：**

19 19-ノルアンドロステンジオール(エストラ-4-エン-3, 17-ジオール)；

19-ノルアンドロステンジオン (エストラ-4-エン-3, 17-ジオン)；

A アンドロスタノロン (5α-ジヒドロテストステロン、17β-ヒドロキシ-5α-アンドロスタン-3-オン)；

アンドロステンジオール (アンドロスタ-5-エン-3β, 17β-ジオール)；

アンドロステンジオン (アンドロスタ-4-エン-3, 17-ジオン)；

B ボルデノン；

ボルジオン (アンドロスタ-1, 4-ジエン-3, 17-ジオン)；

N ナンドロロン(19-ノルテストステロン)；

P プラステロン (デヒドロエピアンドロステロン、DHEA、3β-ヒドロキシアンドロスタ-5-エン-17-オン)；

T テストステロン；

および以下の代謝物と異性体が含まれるが、これらに限定するものではない：

- 3β** 3β-ヒドロキシ-5α-アンドロスタン-17-オン；
- 5a** 5α-アンドロスタ-2-エン-17-オン；
5α-アンドロスタン-3α, 17α-ジオール；
5α-アンドロスタン-3α, 17β-ジオール；
5α-アンドロスタン-3β, 17α-ジオール；
5α-アンドロスタン-3β, 17β-ジオール；
- 5β** 5β-アンドロスタン-3α, 17β-ジオール；
- 7a** 7α-ヒドロキシ-DHEA；
- 7β** 7β-ヒドロキシ-DHEA；
- 4** 4-アンドロステンジオール（アンドロスタ-4-エン-3β, 17β-ジオール）；
- 5** 5-アンドロステンジオン（アンドロスタ-5-エン-3, 17-ジオン）；
- 7** 7-ケト-DHEA；
- 19** 19-ノルアンドロステロン；
19-ノルエチオコラノロン；
- A** アンドロスタ-4-エン-3α, 17α-ジオール；
アンドロスタ-4-エン-3α, 17β-ジオール；
アンドロスタ-4-エン-3β, 17α-ジオール；
アンドロスタ-5-エン-3α, 17α-ジオール；
アンドロスタ-5-エン-3α, 17β-ジオール；
アンドロスタ-5-エン-3β, 17α-ジオール；
アンドロステロン；
- E** エピジヒドロテストステロン；
エピテストステロン；
エチオコラノロン

2. その他の蛋白同化薬

以下の物質が禁止されるが、これらに限定されるものではない：

- クレンブテロール；
- 選択的アンドロゲン受容体調節薬（SARMs[アンダリン、LGD-4033、オスタリン、RAD140 等]）；
- チボロン；
- ゼラノール；
- ジルパテロール

このセクションにおいて、

*「外因性(exogenous)」とは、通常、体内で自然につくられない物質に対して用いる。

**「内因性(endogenous)」とは、通常、体内で自然につくられる物質に対して用いる。

S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

以下の物質および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するものは禁止される：

1. エリスロポエチン(EPO) および赤血球新生に影響を与える物質

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

1.1 エリスロポエチン受容体作動薬

ダルベポエチン(dEPO)；

エリスロポエチン(EPO)；

EPO の構造に基づいて作製された化合物

[EPO-Fc、メトキシポリエチレングリコール-エポエチンベータ(CERA)]；

EPO 模倣ペプチドおよびそれらの作製された化合物

[CNTO 530、ペジネサタイト 等] 等

1.2 低酸素誘導因子(HIF)活性化薬

アルゴン；

コバルト；

モリデュスタット；

ロキサデュスタット(FG-4592)；

キセノン 等

1.3 GATA 阻害薬

K-11706 等

1.4 TGF-ベータ(TGF-β) 阻害薬

ラスパテルセプト；

ソタテルセプト 等

1.5 内因性修復受容体作用薬

アシアロ EPO；

カルバミル化 EPO(CEPO) 等

2. ペプチドホルモンおよびホルモン調節物質

2.1 男性における絨毛性ゴナドトロピン(CG)および黄体形成ホルモン(LH)およびそれらの放出因子[プセレリン、デスロレリン、ゴナドレリン、ゴセレリン、リユープロレリン、ナファレリン、トリプトレリン 等]；

2.2 コルチコトロピン類およびそれらの放出因子

コルチコレリン 等；

- 2.3** 成長ホルモン(GH)、その断片および放出因子、以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

成長ホルモン断片

[AOD-9604、hGH 176-191 等]；

成長ホルモン放出ホルモン(GHRH)およびその類似物質

[CJC-1293、CJC-1295、セルモレリン、テサモレリン 等]；

成長ホルモン分泌促進物質(GHS)

[グレリン、グレリン模倣物質（アナモレリン、イパモレリン、タビモレリン 等）等]；

GH-放出ペプチド(GHRPs)

[アレキサモレリン、GHRP-1、GHRP-2(プララルモレリン)、GHRP-3、GHRP-4、GHRP-5、GHRP-6、ヘキサレリン 等]

3. 成長因子および成長因子調節物質

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- F** 線維芽細胞成長因子類 (FGFs)；
- H** 肝細胞増殖因子 (HGF)；
- I** インスリン様成長因子-1 (IGF-1) および類似物質；
- M** 機械的成長因子類 (MGFs)；
- P** 血小板由来成長因子 (PDGF)；
- T** テモシン-β4およびその誘導因子 [TB-500 等]；
- V** 血管内皮増殖因子 (VEGF)

上記に加え、筋、腱あるいは靭帯での蛋白合成/分解、血管新生、エネルギー利用、再生能あるいは筋線維組成の変換に影響を与える成長因子あるいは成長因子調節物質

S3. ベータ 2 作用薬

すべての選択的および非選択的ベータ 2 作用薬は、すべての光学異性体を含めて禁止される。

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- F** フェノテロール；
ホルモテロール；
- H** ヒゲナミン；
- I** インダカテロール；
- O** オロダテロール；
- P** プロカテロール；
- R** レプロテロール；
- S** サルブタモール；

サルメテロール；

T

テルブタリン；

ツロブテロール；

V

ビランテロール

但し以下のものは除く：

- 吸入サルブタモール（24 時間で最大 1600µg、いかなる用量から開始しても 12 時間で 800µg を超えないこと）；
- 吸入ホルモテロール（24 時間で最大投与量 54µg）；
- 吸入サルメテロール（24 時間で最大 200µg）

尿中のサルブタモールが 1000ng/mL、あるいは尿中ホルモテロールが 40ng/mL を越える場合は、治療を意図した使用ではないため、管理された薬物動態研究を通してその異常値が上記の最大治療量以下の吸入使用の結果であることを *競技者が立証しないかぎり、違反が疑われる分析報告(AAF)*として扱われることになる。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

以下のホルモン調節薬および代謝調節薬は禁止される：

1. アロマトーゼ阻害薬としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：

4

4-アンドロステン-3, 6, 17-トリオン（6-オキシ）；

A

アミノグルテチミド；

アナストロゾール；

アンドロスタ-1, 4, 6-トリエン-3, 17-ジオン（アンドロスタトリエンジオン）；

アンドロスタ-3, 5-ジエン-7, 17-ジオン（アリミスタン）；

E

エキセメスタン；

F

ホルメスタン；

L

レトロゾール；

T

テストラクトン

2. 選択的エストロゲン受容体調節薬 (SERMs) としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：

R

ラロキシフェン；

T

タモキシフェン；

トレミフェン

3. その他の抗エストロゲン作用を有する薬物としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：

C

クロミフェン；
シクロフェニル；
フルベストラント

F

4. ミオスタチン機能を修飾する薬物としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：
ミオスタチン阻害薬
5. 代謝調節薬：
- 5.1 AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の活性化薬 [AICAR, SR9009 等]；
ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 δ (PPAR δ) 作動薬
[2-[2-メチル-4-[4-メチル-2-[4-トリフルオロメチルフェニル]チアゾール
-5-イル]メチルチオ]フェノキシ酢酸 (GW1516, GW501516) 等]；
- 5.2 インスリン類およびインスリン模倣物質；
- 5.3 メルドニウム；
- 5.4 トリメタジジン

S5. 利尿薬および隠蔽薬

以下の利尿薬と隠蔽薬、および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するものは禁止される。

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- デスモプレシン；プロベネシド；血漿増量物質 [アルブミン、デキストラン、ヒドロキシエチルデンプン、マンニトールのいずれも静脈内投与 等]；
- アセタゾラミド；アミロリド；ブメタニド；カンレノン；クロルタリドン；エタクリン酸；フロセミド；インダパミド；メトラゾン；スピロラクトン；チアジド類 [ベンドロフルメチアジド、クロロチアジド、ヒドロクロロチアジド 等]；
トリアムテレン、バブタン類 [トルバブタン 等]

但し以下のものは除く：

- ドロスピレノン；パマブロム； および眼科用に使用される炭酸脱水酵素阻害薬 [ドルゾラミド、布林ゾラミド 等]；
- 歯科麻酔におけるフェリプレシンの局所投与

常に(競技会(時)および競技会外)、あるいは*競技会(時)*それぞれの場合に応じて、利尿薬もしくは隠蔽薬とともに、閾値水準が設定されている物質(ホルモテロール、サルブタモール、カチン、エフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン)がいかなる用量でも*競技者の検体*から検出される場合は、*競技者*に対して、利尿薬もしくは隠蔽薬に加え、閾値水準が設定されている物質についても*治療使用特例(TUE)*が承認されていない限り、*違反が疑われる分析報告(AAF)*として扱われることになる。

禁止方法

M1. 血液および血液成分の操作

以下の事項が禁止される：

1. 自己血、他者血（同種血）、異種血又はすべての赤血球製剤をいかなる量でも循環系へ投与するあるいは再び戻すこと。
2. 酸素摂取や酸素運搬、酸素供給を人為的に促進すること。
過フルオロ化合物；エファプロキシラール（RSR13）、修飾ヘモグロビン製剤〔ヘモグロビンを基にした血液代替物質、ヘモグロビンのマイクロカプセル製剤等〕が含まれるが、これらに限定するものではない。但し、吸入による酸素自体の補給は除く。
3. 血液あるいは血液成分を物理的あるいは化学的手段を用いて血管内操作すること。

M2. 化学的および物理的操作

以下の事項が禁止される：

1. ドーピング・コントロールで採取された検体の完全性及び有効性を変化させるために改ざん又は改ざんしようとすることは禁止される。これらには尿のすり替え、尿の改質（蛋白分解酵素等）などが含まれるが、これらに限定するものではない。
2. 静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。

M3. 遺伝子ドーピング

以下の競技能力を高める可能性のある事項は禁止される：

1. 核酸のポリマーまたは核酸類似物質の使用。
2. ゲノム配列の変更および遺伝子発現の転写および/またはエピジェネティック調節の変更を目的に設計された遺伝子編集用物質の使用。
3. 正常なあるいは遺伝子を修飾した細胞の使用。

競技会（時）に禁止される物質と方法

前文 S0～S5、M1～M3に加えて、以下のカテゴリーは**競技会（時）**において禁止される：

禁止物質

S6. 興奮薬

すべての興奮薬（関連するすべての光学異性体 [d体およびl体等] を含む）は禁止される。

興奮薬には以下の物質が含まれる：

a: 特定物質でない興奮薬：

- A アドラフィニル；
アンフェプラモン；
アンフェタミン；
アンフェタミニル；
アミフェナゾール；
- B ベンフルオレックス；
ベンジルピペラジン；
ブロマンタン；
- C クロベンゾレックス；
コカイン；
クロプロパミド；
クロテタミド；
- F フェンカミン；
フェネチリン；
フェンフルラミン；
フェンプロボレックス；
フォンツラセタム[4-フェニルピラセタム(カルフェドン)]；
フルフェノレックス；
- L リスデキサンフェタミン；
- M メフェノレックス；
メフェンテルミン；
メソカルブ；
メタンフェタミン (d体)；
p-メチルアンフェタミン；
モダフィニル；
- N ノルフェンフルラミン；
- P フェンジメトラジン；

フェンテルミン；
プレニラミン；
プロリントラン

このセクションに掲載されていない興奮薬は**特定物質**である。

b: 特定物質である興奮薬

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- 1,3** **1,3-ジメチルブチルアミン；**
- 4** **4-メチルヘキサ-2-アミン(メチルヘキサアミン)；**
- B** **ベンズフェタミン；**
- C** **カチン**；**
カチノンおよび類似物[メフェドロン、メテドロン、 α -ピロリジノバレロフェノン等]；
- D** **ジメチルアンフェタミン；**
- E** **エフェドリン***；**
エピネフリン**** (アドレナリン)；
エタミバン；
エチルアンフェタミン；
エチレフリン；
- F** **ファンプロファゾン；**
フェンブトラザート；
フェンカンファミン；
- H** **ヘプタミノール；**
ヒドロキシアμφエタミン(パラヒドロキシアμφエタミン)；
- I** **イソメテプテン；**
- L** **レブメタンフェタミン；**
- M** **メクロフェノキサート；**
メチレンジオキシメタンフェタミン；
メチルエフェドリン***；
メチルフェニデート；
- N** **ニケタミド；**
ノルフェネフリン；
- O** **オクトパミン；**
オキシロフリン(メチルシネフリン)；
- P** **ペモリン；**
ペンテトラゾール；
フェネチルアミンおよびその誘導体；
フェンメトラジン；
フェンプロメタミン；
プロピルヘキセドリン；

ブソイドエフェドリン*****;

S

セレギリン;

シブトラミン;

ストリキニーネ;

T

テナンフェタミン (メチレンジオキシアンフェタミン);

ツアミノヘプタン;

および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

但し以下のものは除く:

- クロニジン
- 局所/眼科用に使用されるイミダゾール誘導体および 2018 年監視プログラム*に含まれる興奮薬

* ブプロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドール、シネフリン:これらの物質は 2018 年監視プログラムに含まれ、**禁止物質とみなさない。**

** カチン:尿中濃度 5 μ g/mL を超える場合は禁止される。

*** エフェドリンとメチルエフェドリン:尿中濃度10 μ g/mL を超える場合は禁止される。

**** エピネフリン(アドレナリン):局所使用 [鼻、眼等] あるいは局所麻酔薬との同時投与は禁止されない。

***** ブソイドエフェドリン:尿中濃度 150 μ g/mL を超える場合は禁止される。

S7. 麻薬

以下の麻薬は禁止される:

B

ブプレノルフィン;

D

デキストロモラミド;

ジアモルヒネ(ヘロイン);

F

フェンタニルおよび誘導体;

H

ヒドロモルフォン;

M

メサドン;

モルヒネ;

N

ニコモルフィン;

O

オキシコドン;

オキシモルフォン;

P

ペンタゾシン;

ペチジン

※JADA 訳注: このセクションには国内法の麻薬以外の物質が含まれる。

S8. カンナビノイド

以下のカンナビノイドは禁止される：

- 天然カンナビノイド [大麻、ハシシュ、マリファナ 等]
- 合成カンナビノイド[Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール(THC)およびその他のカンナビノイド模倣物質 等]

但し以下のものは除く：

- カンナビジオール

S9. 糖質コルチコイド

糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用または経直腸使用はすべて禁止される

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- B ベタメタゾン；
ブデソニド；
- C コルチゾン；
- D デフラザコート；
デキサメタゾン；
- F フルチカゾン；
- H ヒドロコルチゾン；
- M メチルプレドニゾン；
- P プレドニゾン；
プレドニゾン；
- T トリアムシノロン

特定競技において禁止される物質

P1. ベータ遮断薬

ベータ遮断薬は、以下の競技種目において**競技会（時）**に限って禁止される。指示がある場合は**競技会外**においても禁止される。

- アーチェリー(国際アーチェリー連盟：WA)*
- 自動車(国際自動車連盟：FIA)
- ビリヤード(全ての種目)(世界ビリヤード・スポーツ連合：WCBS)
- ダーツ(世界ダーツ連盟：WDF)
- ゴルフ(国際ゴルフ連盟：IGF)
- 射撃(国際射撃連盟：ISSF、国際パラリンピック委員会：IPC)*
- スキー/スノーボード(国際スキー連盟：FIS)ジャンプ、フリースタイル(エアリアル/ハーフパイプ)、スノーボード(ハーフパイプ/ビッグエアー)
- 水中スポーツ(世界水中連盟：CMAS)コンスタント-ウェイト アブネア(フィンありフィンなし)、ダイナミック アブネア(フィンありフィンなし)、フリーイマージョン アブネア、ジャンプ ブルー アブネア、スピアフィッシング、スタティック アブネア、ターゲットシューティングおよびパリアブル ウェイト アブネア

***競技会外**においても禁止される

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

- | | | | |
|----------|----------------------------------|----------|-----------------------|
| A | アセブトロール；
アルプレノロール；
アテノロール； | L | ラベタロール；
レボブノロール； |
| B | ベタキソロール；
ビソプロロール；
ブノロール； | M | メチプラノロール；
メトプロロール； |
| C | カルテオロール；
カルベジロール；
セリプロロール； | N | ナドロール； |
| E | エスマロール； | O | オクスプレノロール； |
| | | P | ピンドロール；
プロプラノロール； |
| | | S | ソタロール； |
| | | T | チモロール |

2018 年禁止表

主要な変更の要約と注釈

常に禁止される物質と方法(競技会(時)および競技会外)

禁止物質

S1. 蛋白同化薬

- ジヒドロテストステロンは、国際一般名(INN)である(アンドロスタノロン)へ改名した。1-アンドロステロン(3 α -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-17-オン)は、外因性蛋白同化男性化ステロイド薬の例として追加した。
- LGD-4033およびRAD140は、SARMsのさらなる例として追加した。

S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

- S2を明確にするために再編した。
- ARA290は、最新の文献が基準を満たさないことを示唆したため、このセクションから除外した。
- デスマレリン、ゴセレリン、ナファレリン、トリプトレリンは2.1の例として追加した。
- 成長ホルモン断片は2.3にAOD-9604およびhGH176-191を例として追加した。CJC-1293はGHRHの例として、タビモレリンはGH分泌促進物質の例として追加した。GHRP-1、-3、-4、-5はGHRPの例として追加した。
- チモンin- β 4およびその誘導体であるTB-500等は、禁止されている成長因子の例として追加した。
- コバルトに関しては、コバルトを含有するビタミンB12は禁止物質ではない。

S3. ベータ2作用薬

- サルブタモールのいかなる12時間枠においてもサルブタモール投与量が800 マイクログラムを超えないことを明確にするために投与パラメーターを修正した(図参照)。

吸入サルブタモール - 24時間で最大1600 μ g
12時間枠で800 μ gを超えない投与量



- ツロブテロールを例として追加した。
- 尿中閾値の記載を変更した。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

- クロミフェン(Clomifene)はINNで記載した。
- INNがないため、GW1516のIUPAC名である2-[2-メチル-4-[4-メチル-2-[4-トリフルオロメチルフェニル]チアゾール-5-イル]メチルチオ]フェノキシ酢酸を、他の名称であるGW501516と併せて記載した。
- Rev-Erb- α 作動薬であるSR9009をAMP活性化プロテインキナーゼ(AMPK)物質の例として追加した。

S5. 利尿薬および隠蔽薬

- 2012年以降科学論文で発表されたグリセロールに関する情報、特にアスリート・バイオリジカル・パスポート(ABP)のパラメーターとアスリートの血漿量に影響するグリセロールの作用について考慮した結果、グリセロールによる効果は軽微であると考えられる。したがって、グリセロールを禁止表から除外した。

禁止方法

M2. 化学的および物理的操作

- M2.2に関しては、静脈内投与の許容量とタイミングは、6時間あたり50mLを超える点滴から12時間あたり計100mLを超える点滴へ変更した。禁止物質ではない治療薬（例えば、鉄剤 等）を安全に投与するために柔軟性をもたせた。
- 実臨床を反映して、“医療機関の受診過程”は“入院”へ変更し、“臨床的検査”は“臨床検査”へと明確にした。

M3. 遺伝子ドーピング

- 現状および新たな遺伝子操作技術をふまえ定義を修正した。

競技会(時)に禁止される物質と方法

S6. 興奮薬

- 1,3-ジメチルプテリルアミンを例として追加した。この物質はいくつかの栄養補助食品で検出されている。

S8. カンナビノイド

- “スパイス、JWH-018、JWH-073、HU210等”のカンナビノイド様物質は、“ Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール(THC)およびその他のカンナビノイド模倣物質等である合成カンナ

ビノイド等”へ変更した。合成カンナビノイドは、新薬として絶えず入手可能状況が変化している精神活性物質の主要クラスの1つである。以前に記載していた例は、現在使用は少ないが、継続して禁止である。“その他のカンナビノイド模倣物質”は、例を変更した。

- カンナビジオールは禁止物質ではない。合成カンナビジオールはその他のカンナビノイド模倣物質ではない。しかし、大麻植物から抽出されたカンナビジオールは様々な濃度のTHCを含む可能性がある。THCは禁止物質である。

S9. 糖質コルチコイド

- よく使用される糖質コルチコイドの例をより明瞭にするため追加した。

特定競技において禁止される物質

P1. アルコール

十分な検討と協議の結果、アルコールを禁止表から除外した。この変更の意図は、アルコール使用が問題となるいかなるスポーツのインテグリティや安全性を損なうものではなく、むしろこれらのスポーツにおいてアルコール使用を禁止する他の手段を是認するものである。この変更によって影響を受ける4つの国際競技連盟(IF)は事前にルールを変更し、アルコール使用を検査し、ルールを順守しなかった競技者を適切に制裁する手順を導入するよう通知を受けている。こうした手続き管理によって、IFはそれぞれに適した規則や閾値を柔軟に適用できるようになる。国内アンチ・ドーピング機関は検査を行うことはもはや義務ではなくなるが、適切にIFおよび国内競技連盟を支援できる。

P2. ベータ遮断薬

- 表示の整合性をとるために、P2.ベータ遮断薬は、P1.ベータ遮断薬にカテゴリーを変更した。

SUBSTANCES & METHODS PROHIBITED AT ALL TIMES

(IN- AND OUT-OF-COMPETITION)

IN ACCORDANCE WITH ARTICLE 4.2.2 OF THE WORLD ANTI-DOPING CODE, ALL *PROHIBITED SUBSTANCES* SHALL BE CONSIDERED AS "*SPECIFIED SUBSTANCES*" EXCEPT SUBSTANCES IN CLASSES S1, S2, S4.4, S4.5, S6.A, AND *PROHIBITED METHODS* M1, M2 AND M3.

PROHIBITED SUBSTANCES

S0 NON-APPROVED SUBSTANCES

Any pharmacological substance which is not addressed by any of the subsequent sections of the *List* and with no current approval by any governmental regulatory health authority for human therapeutic use (e.g. drugs under pre-clinical or clinical development or discontinued, designer drugs, substances approved only for veterinary use) is prohibited at all times.

S1 ANABOLIC AGENTS

Anabolic agents are prohibited.

1. ANABOLIC ANDROGENIC STEROIDS (AAS)

a. Exogenous* AAS, including:

1-Androstenediol [5 α -androst-1-ene-3 β ,17 β -diol];
1-Androstenedione [5 α -androst-1-ene-3,17-dione];
1-Androsterone [3 α -hydroxy-5 α -androst-1-ene-17-one];
1-Testosterone [17 β -hydroxy-5 α -androst-1-en-3-one];
4-Hydroxytestosterone [4,17 β -dihydroxyandrost-4-en-3-one];
Bolandiol [estr-4-ene-3 β ,17 β -diol];
Bolasterone;
Calusterone;
Clostebol;
Danazol ([1,2]oxazolo[4',5':2,3]pregna-4-en-20-yn-17 α -ol);
Dehydrochlormethyltestosterone [4-chloro-17 β -hydroxy-17 α -methylandrosta-1,4-dien-3-one];
Desoxymethyltestosterone [17 α -methyl-5 α -androst-2-en-17 β -ol];
Drostanolone;
Ethylestrenol [19-norpregna-4-en-17 α -ol];
Fluoxymesterone;
Formebolone;
Furazabol [17 α -methyl [1,2,5]oxadiazolo[3',4':2,3]-5 α -androst-17 β -ol];
Gestrinone;

Mestanolone;
Mesterolone;
Metandienone [17 β -hydroxy-17 α -methylandrosta-1,4-dien-3-one];
Metenolone;
Methandriol;
Methasterone [17 β -hydroxy-2 α ,17 α -dimethyl-5 α -androst-3-one];
Methyldienolone [17 β -hydroxy-17 α -methylestra-4,9-dien-3-one];
Methyl-1-testosterone [17 β -hydroxy-17 α -methyl-5 α -androst-1-en-3-one];
Methylnortestosterone [17 β -hydroxy-17 α -methylestr-4-en-3-one];
Methyltestosterone;
Metrabolone [methyltrienolone, 17 β -hydroxy-17 α -methylestra-4,9,11-trien-3-one];
Mibolone;
Norbolethone;
Norclostebol;
Norethandrolone;
Oxabolone;
Oxandrolone;
Oxymesterone;
Oxymetholone;
Prostanozol [17 β -[[tetrahydropyran-2-yl]oxy]-1'H-pyrazolo[3,4:2,3]-5 α -androstane];
Quinbolone;
Stanozolol;
Stenbolone;
Tetrahydrogestrinone [17-hydroxy-18 α -homo-19-nor-17 α -pregna-4,9,11-trien-3-one];
Trenbolone [17 β -hydroxyestr-4,9,11-trien-3-one];

and other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

b. Endogenous** AAS when administered exogenously:

19-Norandrostenediol (estr-4-ene-3,17-diol);
19-Norandrostenedione (estr-4-ene-3,17-dione);
Androstanolone [5 α -dihydrotestosterone, 17 β -hydroxy-5 α -androstan-3-one];
Androstenediol (androst-5-ene-3 β ,17 β -diol);
Androstenedione (androst-4-ene-3,17-dione);
Boldenone;
Boldione (androsta-1,4-diene-3,17-dione);
Nandrolone (19-nortestosterone);
Prasterone (dehydroepiandrosterone, DHEA, 3 β -hydroxyandrost-5-en-17-one);
Testosterone;

and their metabolites and isomers, including but not limited to:

3 β -Hydroxy-5 α -androstan-17-one;
5 α -Androst-2-ene-17-one;
5 α -Androstane-3 α ,17 α -diol;
5 α -Androstane-3 α ,17 β -diol;
5 α -Androstane-3 β ,17 α -diol;
5 α -Androstane-3 β ,17 β -diol;
5 β -Androstane-3 α ,17 β -diol;
7 α -Hydroxy-DHEA;
7 β -Hydroxy-DHEA;
4-Androstenediol (androst-4-ene-3 β , 17 β -diol);
5-Androstenedione (androst-5-ene-3,17-dione);
7-Keto-DHEA;
19-Norandrosterone;
19-Noretiocholanolone;
Androst-4-ene-3 α ,17 α -diol;
Androst-4-ene-3 α ,17 β -diol;
Androst-4-ene-3 β ,17 α -diol;
Androst-5-ene-3 α ,17 α -diol;
Androst-5-ene-3 α ,17 β -diol;
Androst-5-ene-3 β ,17 α -diol;
Androsterone;
Epi-dihydrotestosterone;
Epitestosterone;
Etiocholanolone.

2. OTHER ANABOLIC AGENTS

Including, but not limited to:

Clenbuterol, selective androgen receptor modulators (SARMs, e.g. andarine, LGD-4033, ostarine and RAD140), tibolone, zeranol and zilpaterol.

For purposes of this section:

- * "exogenous" refers to a substance which is not ordinarily produced by the body naturally.
- ** "endogenous" refers to a substance which is ordinarily produced by the body naturally.

S2 PEPTIDE HORMONES, GROWTH FACTORS, RELATED SUBSTANCES, AND MIMETICS

The following substances, and other substances with similar chemical structure or similar biological effect(s), are prohibited:

1. Erythropoietins (EPO) and agents affecting erythropoiesis, including, but not limited to:
 - 1.1 Erythropoietin-Receptor Agonists, e.g.
 - Darbepoietins (dEPO);
 - Erythropoietins (EPO);
 - EPO based constructs [EPO-Fc, methoxy polyethylene glycol-epoetin beta (CERA)];
 - EPO-mimetic agents and their constructs (e.g. CNTO-530, peginesatide).
 - 1.2 Hypoxia-inducible factor (HIF) activating agents, e.g.
 - Argon;
 - Cobalt;
 - Molidustat;
 - Roxadustat [FG-4592];
 - Xenon.
 - 1.3 GATA inhibitors, e.g.
 - K-11706.
 - 1.4 TGF- β (TGF- β) inhibitors, e.g.
 - Luspatercept;
 - Sotatercept.

1.5 Innate repair receptor agonists, e.g.

Asialo EPO;
Carbamylated EPO (CEPO).

2. Peptide Hormones and Hormone Modulators,

2.1 Chorionic Gonadotrophin (CG) and Luteinizing Hormone (LH) and their releasing factors, e.g. Buserelin, deslorelin, gonadorelin, goserelin, leuporelin, nafarelin and triptorelin, in males;

2.2 Corticotrophins and their releasing factors, e.g. Corticorelin;

2.3 Growth Hormone (GH), its fragments and releasing factors, including, but not limited to:

Growth Hormone fragments, e.g. AOD-9604 and hGH 176-191;
Growth Hormone Releasing Hormone (GHRH) and its analogues, e.g. CJC-1293, CJC-1295, sermorelin and tesamorelin;
Growth Hormone Secretagogues (GHS), e.g. ghrelin and ghrelin mimetics, e.g. anamorelin, ipamorelin and tabimorelin;
GH-Releasing Peptides (GHRPs), e.g. alexamorelin, GHRP-1, GHRP-2 (pralmorelin), GHRP-3, GHRP-4, GHRP-5, GHRP-6, and hexarelin.

3. Growth Factors and Growth Factor Modulators, including, but not limited to:

Fibroblast Growth Factors (FGFs);
Hepatocyte Growth Factor (HGF);
Insulin-like Growth Factor-1 (IGF-1) and its analogues;
Mechano Growth Factors (MGFs);
Platelet-Derived Growth Factor (PDGF);
Thymosin- β 4 and its derivatives e.g. TB-500;
Vascular-Endothelial Growth Factor (VEGF).

Additional growth factors or growth factor modulators affecting muscle, tendon or ligament protein synthesis/ degradation, vascularisation, energy utilization, regenerative capacity or fibre type switching.

S3 BETA-2 AGONISTS

All selective and non-selective beta-2 agonists, including all optical isomers, are prohibited.

Including, but not limited to:

Fenoterol;
Formoterol;
Higenamine;
Indacaterol;
Olodaterol;
Procaterol;
Reproterol;
Salbutamol;
Salmeterol;
Terbutaline;
Tulobuterol;
Vilanterol.

Except:

- Inhaled salbutamol: maximum 1600 micrograms over 24 hours in divided doses not to exceed 800 micrograms over 12 hours starting from any dose;
- Inhaled formoterol: maximum delivered dose of 54 micrograms over 24 hours;
- Inhaled salmeterol: maximum 200 micrograms over 24 hours.

The presence in urine of salbutamol in excess of 1000 ng/mL or formoterol in excess of 40 ng/mL is not consistent with therapeutic use of the substance and will be considered as an *Adverse Analytical Finding (AAF)* unless the *Athlete* proves, through a controlled pharmacokinetic study, that the abnormal result was the consequence of a therapeutic dose (by inhalation) up to the maximum dose indicated above.

S4 HORMONE AND METABOLIC MODULATORS

The following hormone and metabolic modulators are prohibited:

1. Aromatase inhibitors including, but not limited to:

4-Androstene-3,6,17 trione (6-oxo);
Aminoglutethimide;
Anastrozole;
Androsta-1,4,6-triene-3,17-dione (androstatrienedione);

Androsta-3,5-diene-7,17-dione (arimistane);

Exemestane;

Formestane;

Letrozole;

Testolactone.

2. Selective estrogen receptor modulators (SERMs)
including, but not limited to:

Raloxifene;

Tamoxifen;

Toremifene.

3. Other anti-estrogenic substances including, but not limited to:

Clomifene;

Cyclofenil;

Fulvestrant.

4. Agents modifying myostatin function(s) including, but not limited, to: myostatin inhibitors.

5. Metabolic modulators:

5.1 Activators of the AMP-activated protein kinase (AMPK), e.g. AICAR, SR9009; and Peroxisome Proliferator Activated Receptor δ (PPAR δ) agonists, e.g. 2-(2-methyl-4-([4-methyl-2-[4-(trifluoromethyl)phenyl]thiazol-5-yl)methylthio)phenoxy) acetic acid (GW1516, GW501516);

5.2 Insulins and insulin-mimetics;

5.3 Meldonium;

5.4 Trimetazidine.

Except:

- Drospirenone; pamabrom; and ophthalmic use of carbonic anhydrase inhibitors (e.g. dorzolamide, brinzolamide);
- Local administration of felypressin in dental anaesthesia.

The detection in an *Athlete's Sample* at all times or *In-Competition*, as applicable, of any quantity of the following substances subject to threshold limits: formoterol, salbutamol, cathine, ephedrine, methylephedrine and pseudoephedrine, in conjunction with a diuretic or masking agent, will be considered as an *Adverse Analytical Finding (AAF)* unless the *Athlete* has an approved *Therapeutic Use Exemption (TUE)* for that substance in addition to the one granted for the diuretic or masking agent.

S5 DIURETICS AND MASKING AGENTS

The following diuretics and masking agents are prohibited, as are other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

Including, but not limited to:

- Desmopressin; probenecid; plasma expanders, e.g. intravenous administration of albumin, dextran, hydroxyethyl starch and mannitol.
- Acetazolamide; amiloride; bumetanide; canrenone; chlortalidon; etacrynic acid; furosemide; indapamide; metolazone; spironolactone; thiazides, e.g. bendroflumethiazide, chlorothiazide and hydrochlorothiazide; triamterene and vaptans, e.g. tolvaptan.

PROHIBITED METHODS

M1 MANIPULATION OF BLOOD AND BLOOD COMPONENTS

The following are prohibited:

1. The *Administration* or reintroduction of any quantity of autologous, allogenic (homologous) or heterologous blood, or red blood cell products of any origin into the circulatory system.
2. Artificially enhancing the uptake, transport or delivery of oxygen.
Including, but not limited to:
Perfluorochemicals; efaproxiral (RSR13) and modified haemoglobin products, e.g. haemoglobin-based blood substitutes and microencapsulated haemoglobin products, excluding supplemental oxygen by inhalation.
3. Any form of intravascular manipulation of the blood or blood components by physical or chemical means.

M2 CHEMICAL AND PHYSICAL MANIPULATION

The following are prohibited:

1. *Tampering, or Attempting to Tamper*, to alter the integrity and validity of *Samples* collected during *Doping Control*.
Including, but not limited to:
Urine substitution and/or adulteration, e.g. proteases.
2. Intravenous infusions and/or injections of more than a total of 100 mL per 12 hour period except for those legitimately received in the course of hospital treatments, surgical procedures or clinical diagnostic investigations.

M3 GENE DOPING

The following, with the potential to enhance sport performance, are prohibited:

1. The use of polymers of nucleic acids or nucleic acid analogues.
2. The use of gene editing agents designed to alter genome sequences and/or the transcriptional or epigenetic regulation of gene expression.
3. The use of normal or genetically modified cells.

SUBSTANCES & METHODS PROHIBITED *IN-COMPETITION*

IN ADDITION TO THE CATEGORIES S0 TO S5 AND M1 TO M3 DEFINED ABOVE, THE FOLLOWING CATEGORIES ARE PROHIBITED *IN-COMPETITION*:

PROHIBITED SUBSTANCES

S6 STIMULANTS

All stimulants, including all optical isomers, e.g. *d*- and *l*- where relevant, are prohibited.

Stimulants include:

a: Non-Specified Stimulants:

Adrafinil;
Amfepramone;
Amfetamine;
Amfetaminil;
Amiphenazole;
Benfluorex;
Benzylpiperazine;
Bromantan;
Clobenzorex;
Cocaine;
Cropropamide;
Crotetamide;
Fencamine;
Fenetyline;
Fenfluramine;
Fenproporex;
Fonturacetam [4-phenylpiracetam (carphedon)];
Furfenorex;
Lisdexamfetamine;
Mefenorex;
Mephentermine;
Mesocarb;
Metamfetamine(*d*-);
p-methylamphetamine;
Modafinil;
Norfenfluramine;
Phendimetrazine;
Phentermine;
Prenylamine;
Prolintane.

A stimulant not expressly listed in this section is a *Specified Substance*.

b: Specified Stimulants.

Including, but not limited to:

1,3-Dimethylbutylamine;
4-Methylhexan-2-amine (methylhexaneamine);
Benzetamine;
Cathine**;
Cathinone and its analogues, e.g. mephedrone, methedrone, and α -pyrrolidinovalesterophenone;
Dimethylamphetamine;
Ephedrine***;
Epinephrine**** (adrenaline);
Etamivan;
Etilamfetamine;
Etilefrine;
Famprofazone;
Fenbutrazate;
Fencamfamin;
Heptaminol;
Hydroxyamphetamine (parahydroxyamphetamine);
Isometheptene;
Levmetamfetamine;
Meclofenoxate;
Methylenedioxyamphetamine;
Methylephedrine***;
Methylphenidate;
Nikethamide;
Norfenefrine;
Octopamine;
Oxilofrine (methylsynephrine);
Pemoline;
Pentetrazol;
Phenethylamine and its derivatives;
Phenmetrazine;
Phenpromethamine;
Propylhexedrine;
Pseudoephedrine*****;

Selegiline;
Sibutramine;
Strychnine;
Tenamfetamine (methylenedioxyamphetamine);
Tuaminoheptane;

and other substances with a similar chemical structure or similar biological effect(s).

Except:

- Clonidine;
- Imidazole derivatives for topical/ophthalmic use and those stimulants included in the 2018 Monitoring Program*.
- * Bupropion, caffeine, nicotine, phenylephrine, phenylpropanolamine, pipradrol, and synephrine: These substances are included in the 2018 Monitoring Program, and are not considered *Prohibited Substances*.
- ** Cathine: Prohibited when its concentration in urine is greater than 5 micrograms per milliliter.
- *** Ephedrine and methylephedrine: Prohibited when the concentration of either in urine is greater than 10 micrograms per milliliter.
- **** Epinephrine (adrenaline): Not prohibited in local administration, e.g. nasal, ophthalmologic, or co-administration with local anaesthetic agents.
- ***** Pseudoephedrine: Prohibited when its concentration in urine is greater than 150 micrograms per milliliter.

S7 NARCOTICS

The following narcotics are prohibited:

Buprenorphine;
Dextromoramide;
Diamorphine (heroin);
Fentanyl and its derivatives;
Hydromorphone;
Methadone;
Morphine;
Nicomorphine;
Oxycodone;
Oxymorphone;
Pentazocine;
Pethidine.

S8 CANNABINOIDS

The following cannabinoids are prohibited:

- Natural cannabinoids, e.g. cannabis, hashish and marijuana,
- Synthetic cannabinoids e.g. Δ^9 -tetrahydrocannabinol (THC) and other cannabimimetics.

Except:

- Cannabidiol.

S9 GLUCOCORTICOIDS

All glucocorticoids are prohibited when administered by oral, intravenous, intramuscular or rectal routes.

Including but not limited to:

Betamethasone;
Budesonide;
Cortisone;
Deflazacort;
Dexamethasone;
Fluticasone;
Hydrocortisone;
Methylprednisolone;
Prednisolone;
Prednisone;
Triamcinolone.

SUBSTANCES PROHIBITED IN PARTICULAR SPORTS

P1 BETA-BLOCKERS

Beta-blockers are prohibited *In-Competition* only, in the following sports, and also prohibited *Out-of-Competition* where indicated.

- Archery (WA)*
- Automobile (FIA)
- Billiards [all disciplines] (WCBS)
- Darts (WDF)
- Golf (IGF)
- Shooting (ISSF, IPC)*
- Skiing/Snowboarding (FIS) in ski jumping, freestyle aerials/halfpipe and snowboard halfpipe/big air
- Underwater sports (CMAS) in constant-weight apnoea with or without fins, dynamic apnoea with and without fins, free immersion apnoea, Jump Blue apnoea, spearfishing, static apnoea, target shooting, and variable weight apnoea.

*Also prohibited *Out-of-Competition*

Including, but not limited to:

A cebutolol;	L abetalol;
A lprenolol;	L evobunolol;
A tenolol;	M etipranolol;
B etaxolol;	M etoprolol;
B isoprolol;	N adolol;
B unolol;	O xprenolol;
C arteolol;	P indolol;
C arvedilol;	P ropranolol;
C eliprolol;	S otalol;
E smolol;	T imolol.

SUMMARY OF MAJOR MODIFICATIONS AND EXPLANATORY NOTES

2018 PROHIBITED LIST

Substances and methods prohibited at all times (In- and Out-of-Competition)

Prohibited Substances

S1 ANABOLIC AGENTS

- Dihydrotestosterone was renamed to its International Non-proprietary Name (INN) [androstanolone]. 1-androsterone [3 α -hydroxy-5 α -androst-1-ene-17-one] was added in S1.a as an example of exogenous anabolic steroid.
- LGD-4033 and RAD140 were added as further examples of SARMs.

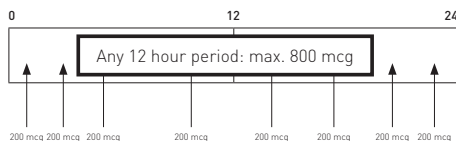
S2 PEPTIDE HORMONES, GROWTH FACTORS, RELATED SUBSTANCES AND MIMETICS

- For clarity and accuracy Section S2 was reorganized.
- ARA290 was removed as an example in this section because current literature suggests it does not meet inclusion criteria.
- Desmorelin, goserelin, nafarelin and triptorelin were added as examples of 2.1.
- Growth Hormone fragments were included in 2.3 with AOD-9604 and hGH 176-191 added as examples; CJC-1293 was added as example of GHRH and tabimorelin as a further example of GH secretagogue. GHRP-1, -3, -4, and -5 were added as examples of GHRP.
- Thymosin- β 4 and its derivatives, e. g. TB-500, were added as example of prohibited growth factors.
- Cobalt: It is re-iterated that vitamin B12, which contains cobalt, is not prohibited.

S3 BETA-2-AGONISTS

- Dosing parameters of salbutamol were revised to make it clear that divided doses of salbutamol may not exceed 800 micrograms over any 12 hours (see figure).

**Inhaled salbutamol – max. 1600 mcg over 24 hours
But not to exceed 800 mcg over any 12 hours**



- Tulobuterol was added as an example.
- The statement on the urinary thresholds was improved.

S4 HORMONE AND METABOLIC MODULATORS

- Clomifene is now stated by its INN.
- In the absence of an INN, the IUPAC name of GW1516, 2-[2-methyl-4-[[4-methyl-2-[4-(trifluoromethyl)phenyl]thiazol-5-yl)methyl]thio]phenoxy) acetic acid as well as an alternative name (GW501516) were included.
- SR9009, a Rev-Erb- α agonist, was added as an example of Activators of the AMP-activated protein kinase [AMPK].

S5 DIURETICS AND MASKING AGENTS

- In consideration of the information published in scientific articles since 2012 that particularly addresses the ability of glycerol to influence the athlete's plasma volume and parameters of the Athlete Biological Passport (ABP), the magnitude of glycerol-derived effects is regarded as minimal. Therefore, glycerol has been removed from the Prohibited List.

Prohibited Methods

M2 CHEMICAL AND PHYSICAL MANIPULATION

- M2.2: the permitted volume and timing of intravenous infusions were changed from infusions of no more than 50 mL per 6-hour period to no more than a total of 100 mL per 12-hour period in order to allow greater flexibility for the safe administration of non-prohibited therapeutic substances, for example, iron.
- To reflect medical practice, "hospital admissions" has been changed to "hospital treatments" and "clinical investigations" has been clarified as "clinical diagnostic investigations".

M3 GENE DOPING

- The definition has been revised to include current and emerging gene manipulating technologies.

Substances and Methods Prohibited In-Competition

S6 STIMULANTS

- 1,3-Dimethylbutylamine was added as an example. This substance can be found in some dietary supplements.

S8 CANNABINOIDS

- The category Cannabimimetics, e.g. "Spice, JWH-018, JWH-073, HU210" was changed to "synthetic cannabinoids, e.g. Δ^9 -tetrahydrocannabinol (THC) and other cannabimimetics". The synthetic cannabinoids are one of the main classes of novel psychoactive substances that have constantly emerging new drugs and changing availability. The previous list of examples continues to be prohibited, but are currently used less commonly. "Other cannabimimetics" replaced these examples.
- Cannabidiol is no longer prohibited. Synthetic cannabidiol is not a cannabimimetic; however, cannabidiol extracted from cannabis plants may also contain varying concentrations of THC, which remains a prohibited substance.

S9 GLUCOCORTICOIDS

- Examples of commonly used glucocorticoids were added for greater clarity.

Substances Prohibited in Particular Sports

P1 ALCOHOL

- After careful consideration and extensive consultation, Alcohol was excluded from the Prohibited List. The intent of this change is not to compromise the integrity or safety of any sport where alcohol use is a concern, but rather to endorse a different means of enforcing bans on alcohol use in these sports. The four International Federations (IF) affected by this change have been alerted sufficiently in advance in order to amend their rules and to put in place protocols to test for alcohol use and appropriately sanction athletes who do not abide by the rules of their sport. Control of the process will allow IF more flexibility in applying rules or thresholds as they see fit. The National Anti-Doping Organizations are no longer obliged to conduct tests but may assist IF and National Federations where appropriate.

P2 BETA BLOCKERS

- For logical consistency, the category known as P2. Beta Blockers was renamed P1. Beta Blockers.



2018 年監視プログラム*

以下の物質が 2018 年監視プログラムに掲載される：

1. 興奮薬：競技会（時）のみ：

ブプロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、
フェニルプロパノールアミン、ピプラドロール、シネフリン

2. 麻薬：競技会（時）のみ：

コデイン、ヒドロコドン、トラマドール

3. 糖質コルチコイド：

競技会（時）（経口使用、静脈内使用、筋肉内使用または経直腸使用以外の投与経路）

競技会外（すべての投与経路）

4. 2-エチルスルファニル-1H-ベンゾイミダゾール（ベミチル）：

競技会（時）および競技会外

5. ベータ 2 作用薬：

競技会（時）および競技会外：ベータ 2 作用薬同士の組合せ

*世界アンチ・ドーピング規程(4.5)："WADA は、署名当事者及び各国政府との協議に基づき、禁止表に掲載されていないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質について監視プログラムを策定するものとする。"

2018 年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈

監視プログラム

スポーツにおける乱用を評価するために以下の物質を追加した：

- 競技会（時）および競技会外における 2-エチルスルファニル-1H-ベンゾイミダゾール（ベミチル）
- 競技会（時）におけるヒドロコドン

ミトラギニンおよびテルミサルタンは使用状況に対する必要な情報が得られたため、監視プログラムから除外した。

THE 2018 MONITORING PROGRAM*

The following substances are placed on the 2018 Monitoring Program:

- 1. Stimulants:** *In-Competition* only: Bupropion, caffeine, nicotine, phenylephrine, phenylpropanolamine, pipradrol and synephrine.
- 2. Narcotics:** *In-Competition* only: Codeine, hydrocodone and tramadol.
- 3. Glucocorticoids:** *In-Competition* (by routes of administration other than oral, intravenous, intramuscular or rectal) and *Out-of-Competition* (all routes of administration).
- 4. 2-ethylsulfanyl-1H-benzimidazole (bemitil):** *In-* and *Out-of-Competition*.
- 5. Beta-2-agonists:** *In-* and *Out-of-Competition*: any combination of beta-2-agonists.

*The World Anti-Doping Code (Article 4.5) states: "WADA, in consultation with Signatories and governments, shall establish a monitoring program regarding substances which are not on the Prohibited List, but which WADA wishes to monitor in order to detect patterns of misuse in sport."

SUMMARY OF MAJOR MODIFICATIONS AND EXPLANATORY NOTES

MONITORING PROGRAM

MONITORING PROGRAM

The following were added to evaluate misuse in sport:

- 2-ethylsulfanyl-1H-benzimidazole (bemitil) *in-* and *out-of-competition*
- Hydrocodone *in-competition*.

Mitragynine and telmisartan were removed from the Monitoring Program because the required information on prevalence was obtained.

THE WORLD ANTI-DOPING CODE
The 2018 Prohibited List International Standard

世界アンチ・ドーピング規程
2018年禁止表国際基準

2018年1月1日発効

2017年11月発行

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

